

(3) 健康・福祉

ア 現在の健康状況 (Q7)

「現在、健康かどうか」についてみると、「健康である」の割合は、日本 (64.4%)、アメリカ (61.0%) 及びフランス (53.5%) で高い。

韓国は、「健康である」(43.2%)、「あまり健康とはいえないが、病気ではない」(34.6%)、「病気がちで寝込むことがある」(21.0%)と多様となっている。

ドイツは、「あまり健康とはいえないが、病気ではない」が55.8%と最も高い。

なお、時系列でみると、日本、韓国及びフランスは「健康である」が増加しているのに対し、アメリカは「健康である」が減少し、ドイツは大きな変化はみられない(表14)。

(表14)

(%)

	日 本						ア メ リ カ						韓 国						ド イ ツ						フ ラ ンス	
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第1回	第3回	第4回	第5回	第6回	第3回	第4回	第5回	第6回	第1回	第6回			
1 健康である	56.6	53.8	50.7	50.6	52.9	64.4	62.4	63.6	64.9	67.0	66.7	61.0	37.6	27.7	34.4	37.9	43.2	34.0	35.6	34.2	32.9	44.1	53.5			
2 あまり健康とはいえないが、病気ではない	28.7	34.4	39.4	37.1	39.2	29.9	24.1	23.9	22.8	23.3	24.2	32.7	28.0	30.1	32.4	33.6	34.6	56.2	54.7	51.0	55.8	44.7	37.6			
3 病気がちで、寝込むことがある	11.7	9.9	8.9	10.8	7.2	5.2	10.5	9.9	7.7	6.8	6.6	6.1	27.5	33.6	27.1	26.7	21.0	8.3	8.0	12.9	10.6	9.3	8.5			
4 病気で、一日中寝込んでいる	2.2	1.7	0.8	1.4	0.5	0.5	0.9	0.6	1.2	1.2	0.9	0.2	6.5	8.1	6.0	1.8	1.2	1.1	0.7	1.9	0.6	1.3	0.4			

イ 日常生活における援助の必要度 (Q8)

「日常生活を送る上で誰かの援助が必要か」についてみると、各国とも「まったく不自由なく過ごせる」(日本85.0%、アメリカ63.2%、韓国73.9%、ドイツ56.2%、フランス65.5%)の割合が最も高くなっている。日本は、各国の中で「まったく不自由なく過ごせる」の割合が最も高く、前回調査と比べて約10ポイント増加している(表15)。

(表15)

(%)

	日 本						ア メ リ カ						韓 国						ド イ ツ						フ ラ ンス	
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第1回	第3回	第4回	第5回	第6回	第3回	第4回	第5回	第6回	第1回	第6回			
1 まったく不自由なく過ごせる					75.3	85.0						67.5	63.2				64.9	73.9				76.0	56.2		65.5	
2 少し不自由だが何とか自分でできる					21.6	11.5						21.9	25.2				26.1	22.0				13.9	27.6		21.1	
3 不自由で、一部ほかの人の世話や介護を受けている					2.4	2.9						5.2	7.9				7.5	3.4				5.7	12.6		9.7	
4 不自由で、全面的にほかの人の世話や介護を受けている					0.4	0.6						1.8	3.6				0.8	0.7				3.8	3.4		3.7	

ウ 健康について心がけていること (Q9)

「日頃、健康について心がけていること」についてみると、各国とも「特になし」(日本 3.6%、アメリカ 1.3%、韓国 5.7%、ドイツ 2.5%、フランス 4.2%)の割合は低く、大部分の高齢者が健康について何らかを心がけている。平均回答数に着目するとアメリカ 6.0、ドイツ 5.3、日本 4.5、フランス 4.1、韓国 3.9 と各国ともほぼ 4~6 程度の項目について心がけていることが明らかになっている。

具体的に心がけていることとしては、各国とも「休養や睡眠を十分とる」の割合が最も高いほか、「規則正しい生活を送る」、「栄養のバランスのとれた食事をする」及び「気持ちを明るく持つ」などが上位にあげられている(表 16)。

(表 16)

付数字は順位(複数回答) (%)

	日 本						ア メ リ カ						韓 国						ド イ ツ						フ ラ ンス				
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第1回	第3回	第4回	第5回	第6回	第3回	第4回	第5回	第6回	第1回	第6回						
1 休養や睡眠を十分とる					68.7	66.3					87.1	89.4					42.4	67.7					75.3	76.0					56.2
2 規則正しい生活を送る					58.7	60.5					67.6	63.1					39.1	62.3					61.2	72.6					53.5
3 栄養のバランスのとれた食事をする					56.0	59.1					72.1	65.9					22.0	31.1					61.7	64.2					54.2
4 保健薬や強壮剤などを飲む					12.7	9.1					16.3	8.6					6.6	9.7					15.2	32.4					8.0
5 健康診査などを定期的に受ける					46.7	45.0					74.1	73.4					15.5	26.5					55.6	64.3					47.0
6 酒やタバコをひかえる					16.7	18.9					21.8	56.4					13.2	25.9					23.4	19.0					8.2
7 散歩や運動をする					43.3	48.3					56.7	52.5					30.7	45.6					51.6	51.7					45.3
8 地域の活動に参加する					20.3	20.3					37.3	31.2					7.2	7.5					23.8	31.3					10.6
9 気持ちをなるべく明るく持つ					45.5	45.5					65.7	59.6					32.0	54.1					52.5	61.1					47.4
10 趣味を持つ					40.7	41.3					47.4	45.5					11.7	19.8					37.0	43.2					40.3
11 なるべく外出する					28.1	31.1					53.5	56.4					23.4	35.0					15.3	14.2					37.6
12 その他					2.0	2.9					4.1	2.6					4.1	2.8					3.1	4.1					0.6
13 特になし					3.8	3.6					1.2	1.3					19.8	5.7					2.5	2.5					4.2
1~12の累計 平均個数(全回答数÷全回答者)						4.5							6.0							3.9			5.3	4.1					

エ 日頃の食事の状況 (Q10)

「日ごろの食事の状況」についてみると、各国とも「朝昼晩1日3回規則正しく食べる」(日本 85.3%、アメリカ 72.8%、韓国 89.2%、ドイツ 69.3%、フランス 68.4%)の割合が最も高くなっている。日本及びアメリカは「塩分をとり過ぎない」が、韓国及びフランスは「手作りの料理を増やす」が、ドイツは「じっくり時間をかけて食べる」が、それぞれ次いで高い割合となっている(表17)。

(表17)

付数字は順位(複数回答)(%)

	日 本						ア メ リ カ						韓 国						ド イ ツ						フ ラ ンス										
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第1回	第3回	第4回	第5回	第6回	第3回	第4回	第5回	第6回	第1回	第6回												
1 朝昼晩1日3回、規則正しく食べる						85.3						72.8											89.2						69.3						68.4
2 間食や夜食をとらない						27.0						20.7											24.1						24.6						28.5
3 食べ過ぎない						49.0						57.9											47.4						42.0						37.0
4 じっくり時間をかけて食べる						29.7						50.0											38.4						62.5						40.7
5 栄養のバランスに配慮し、様々な食品をとる						50.8						59.1											21.9						40.1						54.3
6 塩分をとり過ぎない						57.0						68.7											43.3						37.4						42.9
7 脂肪をとり過ぎない						46.0						65.2											36.1						56.4						58.3
8 食品の安全性(無農薬等)に配慮する						25.5						9.4											16.7						15.2						13.1
9 手作りの料理を増やす						47.5						50.6											73.0						57.5						58.5
10 その他						1.4						1.3											0.7						2.2						0.8

オ 医療サービスの利用状況 (Q11)

「『医療サービス』を日頃どのくらい利用するか」についてみると、「利用していない」の割合は、アメリカ(10.5%)及び韓国(9.7%)が1割程度なのに対して、他の3か国では2～3割程度と比較的高い割合となっている。

医療サービスの利用頻度は、日本を除く4か国で「年に数回」(アメリカ62.4%、韓国33.6%、ドイツ40.9%、フランス45.7%)の割合が最も高くなっている。

一方、日本は、現在の健康状況は他の国に比べて比較的良いものの、医療サービスの利用状況は、「ほぼ毎日」から「月に1回くらい」の割合の合計が56.8%と韓国(56.7%)とともに、他の3か国(アメリカ26.7%、ドイツ32.9%、フランス23.6%)と比較して高くなっており、医療サービスの利用頻度が高くなっている(表18)。

(表18)

(%)

	日 本						ア メ リ カ						韓 国						ド イ ツ						フ ラ ンス				
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第1回	第3回	第4回	第5回	第6回	第3回	第4回	第5回	第6回	第1回	第6回						
1 ほぼ毎日					1.6	1.2							0.2	0.2							2.9	1.5			0.9	0.5			0.7
2 週に4、5回くらい					0.8	0.8							0.1	0.2							1.1	1.9			0.3	0.3			0.2
3 週に2、3回くらい					5.4	4.0							0.6	1.3							4.3	7.0			1.6	2.0			0.7
4 週に1回くらい					5.9	5.0							2.0	1.6							6.9	5.7			3.7	2.9			1.2
5 月に2、3回くらい					24.3	17.7							6.8	8.0							16.0	15.2			8.0	9.8			4.5
6 月に1回くらい					22.2	28.1							13.4	15.4							19.0	25.4			15.4	17.4			16.3
7 年に数回					18.9	17.7							71.5	62.4							29.8	33.6			36.7	40.9			45.7
8 利用していない					20.9	25.4							4.8	10.5							20.1	9.7			33.4	26.1			30.8

カ 医療サービスに対する満足度 (Q12)

「『医療サービス』を利用している高齢者が『医療サービス』についてどのくらい満足しているか」についてみると、「満足している」はアメリカで75.8%と最も高く、次いで、ドイツ(58.9%)、フランス(56.9%)、日本(32.5%)、韓国(25.6%)となっている。

「満足している」と「まあ満足している」の割合を合計した数値をみると、上位から順に、アメリカ(95.3%)、フランス(94.3%)、ドイツ(92.9%)、日本(88.6%)、韓国(86.1%)となっており、各国ともかなり高い水準になっている(表19)。

(表19)

(医療サービスを利用している方に) (%)

	日 本						ア メ リ カ						韓 国						ド イ ツ						フ ラ ンス				
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第1回	第3回	第4回	第5回	第6回	第3回	第4回	第5回	第6回	第1回	第6回						
1 満足している					32.2	32.5							76.5	75.8							28.4	25.6			41.3	58.9			56.9
2 まあ満足している					58.3	56.1							18.6	19.5							53.8	60.5			51.8	34.0			37.4
3 やや不満である					8.0	8.4							3.0	3.0							15.4	13.1			5.0	5.7			5.2
4 不満である					1.4	2.5							1.0	1.2							2.0	0.9			1.9	1.2			0.4

キ 医療サービスに対する不満点・問題点（Q13）

「『医療サービス』を利用している高齢者が『医療サービス』に感じる不満点」についてみると、日本では「診察の時に待たされる」（20.4％）が最も高く、他の国と比較しても高い割合となっており、次いで、「費用が高い」（15.3％）、「医師、看護師などの説明が足りない」（6.5％）となっている。

アメリカでは、「費用が高い」（31.5％）が最も高く、次いで、「診察の時に待たされる」（17.2％）、「医師、看護師などの説明が足りない」（15.7％）となっている。

韓国では、「費用が高い」（26.8％）が最も高く、次いで、「診察の時に待たされる」（17.7％）、「施設が近くにない」（12.6％）となっている。

ドイツでは、「費用が高い」（22.8％）が最も高く、次いで、「診察の時に待たされる」（13.5％）、「医師、看護師などの説明が足りない」（11.9％）となっている。

フランスでは、「手術などの日を待たされる」（17.7％）が最も高く、次いで、「医師、看護師などの説明が足りない」（16.7％）、「費用が高い」（15.1％）となっている（表20）。

（表20）

（医療サービスを利用している方に） 付数字は順位（複数回答） (%)

	日 本						ア メ リ カ						韓 国						ド イ ツ						フ ラ ンス					
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第1回	第3回	第4回	第5回	第6回	第3回	第4回	第5回	第6回	第1回	第6回							
1 費用が高い					18.8	15.3					25.2	31.5					34.0	26.8				3.7	22.8							15.1
2 医師、看護師などの説明が足りない					7.9	6.5					12.5	15.7					7.2	10.7				12.9	11.9							16.7
3 施設が近くにない					11.1	6.1					3.7	3.9					15.6	12.6				4.2	4.8							4.6
4 施設や設備が古い					2.3	1.1					0.7	0.0					1.6	4.8				0.6	0.9							3.5
5 手術などの日を待たされる					0.9	0.5					6.2	9.5					3.7	4.1				2.4	6.5							17.7
6 診察の時に待たされる					30.6	20.4					13.1	17.2					19.2	17.7				25.0	13.5							7.4
7 プライバシーが守られていない					0.7	0.5					1.8	1.5					0.4	0.7				1.1	1.9							1.3
8 医師、看護師などの職員の対応や態度がよくない					2.3	3.2					3.1	4.3					4.9	4.6				2.6	3.7							3.8
9 十分な治療が受けられない					2.0	1.9					2.4	2.7					10.3	9.9				4.4	4.2							1.3
10 その他					1.5	3.0					3.4	1.6					4.4	1.4				2.4	2.7							0.4
11 特になし					48.2	61.0					56.4	51.6					45.8	54.8				60.8	57.3							61.2

ク 通所・在宅の福祉サービスの利用状況（Q14）

「どのような『通所・在宅のサービス』を主に利用しているか」についてみると、各国とも「利用していない」の割合が8～9割程度と高くなっており、利用率は低くなっている（表21）。

（表21）

（%）

	日 本						ア メ リ カ						韓 国						ド イ ツ						フ ラ ンス				
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第1回	第3回	第4回	第5回	第6回	第3回	第4回	第5回	第6回	第1回	第6回						
1 デイサービス					1.9	2.6					0.7	1.0					6.0	0.5					1.2	1.8					7.7
2 ホームヘルプサービス					1.2	1.7					3.5	4.5					0.2	0.4					4.3	4.3					3.9
3 ショートステイ						0.0						1.1						0.1						0.4					3.7
4 その他					0.6	0.8					1.8	0.3					3.2	0.5					1.5	0.8					0.1
5 利用していない					96.3	94.9					92.5	92.9					90.6	98.5					92.9	92.7					84.7

注) 3は前回はなかった。

ケ 通所・在宅の福祉サービスの利用頻度（Q15）

通所・在宅のサービスを利用している高齢者の「利用する頻度」についてみると、アメリカ及びドイツでは「ほぼ毎日」（アメリカ24.6%、ドイツ41.9%）の割合が最も高くなっている。一方、日本及び韓国では「週に2、3回くらい」（日本34.9%、韓国40.0%）の割合が最も高くなっている。なお、フランスは、他の国と比較して利用率は高いが、利用頻度については「年に数回」の割合が44.9%と最も高くなっている（表22）。

（表22）

（通所・在宅の福祉サービスを利用している方に）（%）

	日 本						ア メ リ カ						韓 国						ド イ ツ						フ ラ ンス				
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第1回	第3回	第4回	第5回	第6回	第3回	第4回	第5回	第6回	第1回	第6回						
1 ほぼ毎日					9.3	16.3					33.3	24.6					31.9	20.0					41.9	41.9					15.2
2 週に4、5回くらい					14.0	18.6					6.7	13.0					14.9	13.3					5.4	5.4					1.9
3 週に2、3回くらい					39.5	34.9					16.7	20.3					16.0	40.0					8.1	14.9					12.7
4 週に1回くらい					23.3	18.6					20.0	11.6					8.5	13.3					17.6	20.3					8.2
5 月に2、3回くらい					7.0	7.0					13.3	8.7					7.4	6.7					6.8	4.1					4.4
6 月に1回くらい					4.7	2.3					3.3	8.7					11.7	0.0					8.1	4.1					12.7
7 年に数回					2.3	2.3					0.0	10.1					9.6	6.7					12.2	6.8					44.9

サ 医療や福祉サービスに不満がある場合の対応 (Q17)

「利用している医療や福祉サービスに不満がある場合、どのような対応をするか」についてみると、アメリカでは「サービス提供機関に直接苦情を申し立てる」(54.4%)が最も高くなっている。日本及びドイツでは「家族・友人に相談する」(日本 33.1%、ドイツ 43.9%)の割合が最も高くなっている。韓国及びフランスでは「サービス提供機関をかえる」(韓国 45.2%、フランス 37.3%)の割合が高くなっている。

手段をとる平均数(回答1から6まで及び8の累計)を国別にみると、アメリカは1.7個、ドイツは1.5個、韓国は1.2個に対して、日本は0.8個と5カ国の中で最も少なくなっている(表24)。

(表24)

付数字は順位(複数回答) (%)

	日 本						ア メ リ カ						韓 国						ド イ ツ						フ ラ ンス			
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第1回	第3回	第4回	第5回	第6回	第3回	第4回	第5回	第6回	第1回	第6回					
1 サービス提供機関をかえる					33.5	21.9					47.4	51.1					26.5	45.2				39.5	36.0		37.3			
2 サービス提供機関に直接苦情を申し立てる					22.0	19.5					57.1	54.4					17.5	24.0				38.0	43.2		35.8			
3 家族・友人に相談する					36.4	33.1					31.1	32.9					13.1	35.3				46.4	43.9		18.1			
4 公的機関に申し立てる					13.8	5.8					16.5	14.0					2.3	5.8				10.5	13.0		7.1			
5 私的機関に申し立てる					3.5	2.1					8.3	8.8					3.3	4.5				6.4	8.6		3.9			
6 弁護士を立てて訴訟を起こす					1.1	0.7					5.8	4.3					0.6	0.8				5.9	5.8		1.7			
7 不満があっても我慢する					7.5	10.3					6.5	5.2					36.2	23.8				4.8	6.9		8.2			
8 その他					0.7	1.2					1.7	0.1					0.0	1.0				0.8	1.3		0.7			
9 わからない					23.1	27.7					7.4	6.7					24.6	12.7				10.4	9.1		17.1			
1-6と8の累計 平均個数						0.8							1.7							1.2							1.5	1.0
(1-6及び8の全回答数÷7及び9と回答した者を除く全回答)																												

シ 高齢者であることを理由として不利益等を受けた経験の有無 (Q18)

「高齢者であることを理由として、ほかの人々から不愉快な取り扱いや不利益を受けたような経験」についてみると、日本、アメリカ、ドイツ及びフランスの4カ国は、「まったくない」(日本 79.0%、アメリカ 70.4%、ドイツ 63.6%、フランス 77.7%)の割合が最も高くなっている。これに対して、韓国では「あまりない」が46.0%で最も高く、「まったくない」は36.1%に留まっている(表25)。

(表25)

(%)

	日 本						ア メ リ カ						韓 国						ド イ ツ						フ ラ ンス		
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第1回	第3回	第4回	第5回	第6回	第3回	第4回	第5回	第6回	第1回	第6回				
1 大いにある						0.7											2.0						2.5		1.8		0.7
2 少しはある						6.2											9.2						15.4		15.7		8.5
3 あまりない						14.0											18.3						46.0		18.9		13.1
4 まったくない						79.0											70.4						36.1		63.6		77.7